

## 新しいごみの分別・収集に関する説明会での質疑応答

令和2年7月10日、17日に実施した計4回の説明会において、参加者の皆さまからいただいた質問とその回答になります。  
ただし、回答は、新しいごみ分別・収集を8月から実施することを前提で回答させていただいておりますのであらかじめご了承ください。

日時	番号	質問事項	回答
7 / 10 (金) 13 : 30 、 参加者 26 人	①	ステーションボックスの代わりに網かごのような物を置くのか	ポリ袋のようなものに入れていただく
	②	カラスがつつくことはないのか	黄色い網をかける等、ご自身で用意していただく
	③	道路に面した箇所に置くので、車などは来ないのか	利島の敷地等を考慮して、住民の方と相談させていただく。個別の案件については、村で調整させていただきたい
	④	ペットボトルやアルミ缶は、風の強い日だと飛ばされてしまうのではないのか	網をかける等、ご自身で用意していただく。(昔使ってたエビ網など、各自で工夫をしていただきたい。)
	⑤	網は役場で買うなりして、対応してもらえないのか	今後、検討する
	⑥	回収時間はどのようにするのか	8時30分までに出してもらいたい
	⑦	バケツは洗ってもらえるのか	戸別で洗っていただく
	⑧	ステーションボックスを撤去する意味は	ゴミを出すにあたって、誰が出したのかわかるようにするため
	⑨	ステーションボックスの中にバケツやゴミを入れることはできないのか(ステーションボックスを撤去すると、擁壁の管の箇所に、缶を入れてしまう観光客がいるため)	現時点では考えていない。今後、検討させていただく
	⑩	袋にプラスチックやアルミ缶と書いたほうがいいか	袋には書く必要はないが、見えるような状態にすればよい
	⑪	資料を整理して、何曜日にどんなゴミを出すといったカレンダーはないのか	カレンダーについては、8月号広報のカレンダーで周知する
	⑫	今の焼却炉については、どのような状態になっているのか	現在、焼却はできているが、約1,000万円の修繕費と約700万円の燃料費を支出している。焼却炉の更新または大島への島外搬出のいずれかを、検討している
	⑬	段ボールや雑紙を始めたが、その後ゴミの量は減ったのか	可燃ごみの量が月7~9トンであったのが、5~6トンほどに減少した
	⑭	段ボールや雑誌に加えて、生ごみも含めれば、もっと焼却量は減るのか	水分も含んでいるので、より減少してゆく
	⑮	ビンは色を分けていなかったが、今回は分けるのか	分別する
	⑯	ビンは破砕するのか	破砕する必要はない
	⑰	紙類は、雨の日は出せないが、その際の対応は	雨の日に関しては、次の日に出すことができるよう、調整する
	⑱	缶はつぶしてはいけないのか	缶はつぶして構わない。(吸い殻など、中身が入っている状態だと回収はできないので、各自で対応してほしい。)
	⑲	可燃ごみは週3回から週1回に減るが、それでも回収可能なのか	プラスチックのごみに関しては、紙おむつを除くと、1/3に減少する。可燃ごみの回収日は現在週3日だが、今後、可燃ごみ回収を週2日まで確保することが困難。
	⑳	プラやペットが飛ばないように、住民が各自で行うのか	住民の人にご協力願いたい
	㉑	紙にホチキスがついていても資源として回収可能なのか	ホチキスをつけていても、資源ごみとして回収する
	㉒	枝の処理についてはどうするのか	枝を堆肥化できるような施設も検討しているが、枝を細かくして、生ごみとして出していただくことも可能
	㉓	村営住宅の玄関については、どうするのか	村営住宅については、戸別の玄関に出していただく
	㉔	排出場所については、決まりがあるのか	道路に面した箇所に捨てていただく

日時	番号	質問事項	回答
7 / 1 0  (金) 1 8 : 0 0 、 参 加 者 3 9 人	①	透明か半透明のビニールという指定があり、内地に行くと色々なビニールをもらえるが、そういったビニールで捨てるのは可能か	レジ袋で構わない。わざわざ購入する必要はない
	②	紙の分別が複雑だが、外国製の容器でプラや紙等の標記がないものについては、通常の可燃ごみとして出すという認識でよいのか	外国製品で分かりづらい物に関しては、燃えるゴミとして出してもらって構わない
	③	戸別で出すということは、カラス除けのネットは自分で用意するのか	カラス除けのネットやパールに関しては、住民の方に用意をしていただく。(購入して、配布するかは検討してゆく。)
	④	容器に関しては、石など置いたほうがよいのか	石やブロックなどを上に置いて、戸別に出していただきたい
	⑤	サラダ油はどんな種類で出せばよいのか	布等に吸わせて、燃えるゴミとして出していただきたい。容器に戻す必要はない
	⑥	卵の殻は生ごみで出してよいのか	生ごみとして出してもらいたい
	⑦	事業所向けの説明会はあるのか	事業系に関しては、搬出の範囲外なので、本来有料。しかし、島内で事業系の処理業者がないため、事業者のごみに関しては、家庭ごみと一緒に出していただく形になる
	⑧	事業系のごみの出し方に関しては、個別相談という認識でよいのか	個別相談という認識で構わない
	⑨	生ごみを洗うと、相当な水を使うことになるが、その対応は	食器を洗った洗い残しの水や、風呂の残り水や海水など、各自で対応していただきたい
	⑩	きちんと分別していなければ、回収されずに放置されたままになるのか。	最初からいきなり変えていくことは難しと思うので、放置されたものに関しては排出指導をさせていただきます
	⑪	カラスなどに食われてしまう可能性があるが、個人で対応するのか。	各自で対応していただく。ネットやパールを配ることにしては、今後検討してゆく
	⑫	生ごみの排出に関しては、乾燥剤を使う必要があるのか	乾燥剤を使わずに、そのまま使用して構わない
	⑬	乾燥剤を使わなければ、虫が寄り付く可能性があるが、その対応は	バケツにフタがついているので、それに対応していただく
	⑭	ステーションを全て撤去すると、住民でない業者に対してはどのような対応をするのか。ポイ捨てするのではないのか	事業所に関しては、場所と期間を事前に通知していただければ、戸別回収する予定。村としても排出の指導徹底する
	⑮	マスク等、コロナに感染している疑いのある、ごみについてはどのように処分するのか	マスクは燃えるゴミとして出していただく
	⑯	マスク等を入れた袋は、結んで中に捨てるが、出てきてしまう場合どうすればよいのか	広報等で周知していきたい。回収業者に関してもマスクの着用等、徹底していきたい
	⑰	生ごみ容器のバケツは小さいのではないのか	個人で捨てていただく分には、役場にある生ごみ処理槽に排出してもらいたい。小さい場合には、大きいバケツに移し替えて捨てていただくことは可能
	⑱	曜日に限らず、生ごみを持っていくことは可能なのか	平日8時30分～17時(土日・祝日を除く)までの開庁日に捨てていただく分には可能
	⑲	大きい魚の骨は生ごみとして出してよいのか	マグロといった大きな骨に関しては難しいが、かんぱち程度の骨であれば構わない
	⑳	火曜日の焼却ゴミは自分で出すことはできないのか	現状では、紙とプラスチックと生ごみを分別して出す(紙おむつは除く)と、1/3ほどに減少する。回収できる日程が限られているため、現時点では週1回にさせていただきます
	㉑	段ボールや紙類は雨の日は出せないが、そのような場合はどのような対応をするのか	水曜日が雨天の場合は、木曜日に回収する予定。詳細は広報で周知する
	㉒	生ごみステーションは、役場だけにあるが、他の所に設置する予定はあるのか	管理が難しく、何を捨てられるかわからないので、人目につく場所に設置している。そのためにも、週2回に設定している

日時	番号	質問事項	回答
7 / 17 (金) 13:30 参加者23人	①	紙おむつを週1で可燃ごみとして回収することは不可能なのではないか	本来ならば、週2回収したいところだが、収集できる体制が整っていない。今後、収集回数が増やせるのであれば、検討してゆく
	②	戸別回収を行って個人が特定できれば、きれいにしてくれるだろうという想定なのだろうが、個人から見ればプライバシーがなくなってしまうのではないか	今後、検討する
	③	容器の周りが散乱することに対して、村はどう対応してゆくのか	容器の周りが散乱することのないように、戸別で対応していただくことが基本だが、村としてもどのようなことができるかを検討させていただきたい
	④	今のステーションを撤去するのではなく、可燃ごみの収集回数は増やしたほうがよいのではないか	今後、検討する
	⑤	水不足が問題となっている本村で、リサイクル用に水で洗うのは問題があるのではないか	水道水の蛇口をひねって、洗う必要はなく、皿を洗った後の残り水等を活用していただいて、リサイクルに出していただきたい。湯水等で、水不足が深刻になってきたときには、放送等で周知する予定である
	⑥	ごみの分別は住民の協力がなければできない企画であって、罰則も何もなければ、ごみが増えてゆくのではないか	罰則に関しては、ポイ捨てに関する条例を定めており、アルミ缶やペットボトルをポイ捨てした場合、村から指導がある。指導に従わない場合は、氏名の公表と告示がなされるので、住民の協力が必須協力が得られなければ、ごみ処理費が増大してしまい、有料化を検討せざるを得なくなり、別の負担がかかってしまうので、ご承知いただきたい
	⑦	このような話の経緯になったのは、美化委員会で議論した結果であるとのことだが、誰が議論して、どのような答申があって、ごみを減らそうという話になったのか	村長が諮問を行い、美化検討委員会で答申いただいて、それに基づいて村で計画を立てて実施するという状況である。委員会の答申については、広報折込及びHPで周知してゆく予定である
	⑧	カラスよけのネットに関して、自分で用意することのことだが、カラスに荒らされたら、回収は行われるのか	排出するところまでは排出者責任のため、回収はされない
	⑨	東京の自治体の中には、マンションの前などで捨てており、カラスによって荒らされた場合は、清掃員が回収しているが、そのようなことはやらないのか	ステーションの今の現状が、きれいにしている所とそうでない所が現状である。通勤途中で排出していく現状もあることをふまえ、ご自宅の所で戸別収集をお願いしている
	⑩	ごみの減量化とマネジメントができていないことは別問題ではないのか	ごみの減量化については必須課題であり、マネジメントも含めて検討してゆく必要がある
	⑪	質問を聞いた人はわかるが、聞いていない人はわからないので、その内容を共有してもらうことはできるのか	Q&Aについては、8月号の広報の折込やHPの中に、反映していきたい
	⑫	事業者については、自己責任になるのか	本来であれば、村の収集からは範囲外であるが、島内に産業廃棄物処理業者がないので、村で引き続き行うが、分別の徹底については引き続きお願いしたい
	⑬	ごみ全般に関して、役場に近しい人間は便利だと思われるが、遠い人間は収集日がないから、役場に捨てていこうということは認められるのか	検討委員会の中で議論があったこととして、多いものについては月2回資源ごみの回収を行うということであった。月1回のアルミ缶については、そもそもごみが出ない現状である。容器については臭いが漏れるものではない
	⑭	女性の中にはプライバシー等の観点から、否定的な意見も多い。そういったことに配慮しながら施策を進めてゆくことはできないのか	委託業者に対して、個人情報流出がないように指導徹底していく
	⑮	集合住宅であれば、一軒一軒ではなく、決まった所に置くということは可能なのか	集合住宅の方がしっかりと管理していただくのであれば、ステーション方式でも構わない。しかし、管理できない箇所を村に頼むことはご勘弁願いたい。ステーションが悪いと言っているわけではなく、住民の方がしっかりと排出していただければ問題はない。ステーションがなくなると、観光客による不法投棄が増えるのではないかといい声もあるが、観光客に対しては周知徹底を図っていく
	⑯	ステーションを住民で管理するといった考え方なら、回収する側も楽になるので、それでもよいのか	今後、実際にやってみて検討していく
	⑰	ごみの有料化の問題を考えるよりも、焼却場を作らずに、引き延ばししていたことに問題があるのではないか	今後、その問題に関しては検討していく
	⑱	ネズミについては、どのように処理すればよいのか。ネズミを1週間家に置いておくことはできないので、役場のステーションに置いておいてもよいのか	ねずみについては、袋に入れていただいて、燃えるゴミで出していただく
	⑲	計画としては、よくまとまっているし、ごみの削減にもつながるのかもしれないが、運用面において納得がいかない村民が多いのではないか	運用面においては、今後検討する。全てにおいて、上手くゆくとは考えていないが、実際に行ってみてどのような改善をしてゆけばよいのか、考えていく
	⑳	今まで、汚れた段ボールは燃えるゴミ、きれいな段ボールは資源ごみで出していたが、今後どうなるのか	今後も同じように行っていただきたい。油污れや泥がついてしまったものに関しては、燃えるゴミでだしていただく

日時	番号	質問事項	回答
7 / 1 7  (金)  1 3 : 3 0 、 参加者 2 3 人	⑲	発泡スチロールに関しては、どのような排出をすればよいか	燃えるゴミで出していただきたい
	⑳	段ボールについては、縛った方がよいのか	持ち込みする際には、縛っていただかなくても、畳んでいただければその状態で構わない
	㉑	段ボールの持ち込みに際しては、人はいるのか	人はいない。段ボールはコーンが置いてあって、置く場所が決まっているので、その場所に捨てていただきたい
	㉒	お菓子のようないくつかの袋の捨て方についてはどのようにすればよいのか	小袋に入っているプラスチックの容に関しては、プラスチックとしてそのまま捨てていただいて構わない。醤油やからし等の小さい袋に関しては、燃えるゴミとして出していただいて構わない。チョコレートのような小さな袋については、チョコレートがついていなければ、プラとして出していただきたい。わからなければ、無理して排出する必要はなく、可燃ごみとして出していただきたい
	㉓	汚水の中に油は極力含まれてほしくないのだが、動画を見ると全部洗ってほしい印象がある。フライパンといった油程度なら構わないが、ケチャップ等、全部容器を洗って浄化槽の中に入れてしまうと、詰まってしまうことにならないか	使い切って、捨てていただくことが望ましい
	㉔	お酒なども流されてしまうことがあるので、その分についても住民に対して周知してもらえないか	今後、周知させていただく
	㉕	年末年始のごみ出しは、変わらず休みになるのか	12月のカレンダーについては、まだ検討段階。12月28日から1月3日までについてはお休みとさせていただきます。12月のカレンダーの中で、1週間以上空いてしまうような場合には、可燃ごみの日は別に設けたい。生ごみについても、年末年始は役場に日直がいるので、その中で対応させていただきたい
	㉖	刈った芝生が大量に出るが、それについてはどのように処理すればよいか	圃場に置いてある木を堆肥化する計画を考えているが、それまでは乾かしていただいて対応していただきたい
	㉗	学校の芝生については、どのような処理をすればよいのか	学校の堆肥を置いてあるところで処理していただくことを検討している
	㉘	各家から出る枝を切ったものについてはどのような処理をすればよいのか	今後検討させていただく
	㉙	フライヤーの油については、牛乳パックの中に紙を入れて、油を入れて、封をして、可燃ごみとして出しているが、どのような処理をすればよいのか	油については、可燃ごみで構わない
	㉚	8時30分から17時までの間であれば、生ごみ処理槽の中に生ごみを捨てられるのか	捨てることは可能
	㉛	PETボトルや資源については、役場に近い人はすぐに捨てられることはできるが、西山にいる役場から遠い人は大変なのではないか回収する側も大変で、内地では回収BOXがあるが、そのような検討はしないのか	今後検討させていただく
	㉜	事業者としては、紙パックやトレーなどの回収BOXの場所について提供することも可能そういったことも含めて、事業者として議論に参加させていただきたい。	委員の中には、事業者の方も一部加わっていただいていたが、回収BOXについては、今後検討させていただく。各商店も含めて、どのような形で実現可能なものか、別途お話をさせていただきたい
	㉝	焼却炉の建設については、どこまで話が進んでいるのか	今回の分別については、ある一定期間やってみないと、どの程度の量のごみが出るのか、ごみ質がどの程度なのか不明なので、調査してゆく必要がある。その結果が分かり次第、利島の中に焼却場を建てるのか、島外に搬出するのかといったことも含めて検討していく
	㉞	今現在、焼却場の建設に関しては、白紙ということなのか	可燃ごみが減少すれば、それだけ焼却場の建設についても小さい規模のものとなるので、建て替えについては検討している段階である
	㉟	今の焼却量が約10%程度減少する等、大まかな数字に基づいて焼却炉を一回建ててみなければ、話が進まないのではないか	他の自治体の導入例である粟島村によれば、半年で施設が完成している。今の利島村の焼却が1日2.5トンの焼却能力を持っているが、そこまでのオーバースペックのものは現状不要であるというようにもわかってきている
	㊱	現状よりも小さい2t程度の焼却炉であれば建設することもよいのではないか。	2tでも、焼却能力がオーバースペックの可能性があり、維持費が高額になってしまう可能性がある。費用対効果も含めて、住民の方のご理解とご協力をお願いしたい
	㊲	8月に新しいごみ回収を実施してから、今後もこのような住民説明会を実施してゆくのか	具体的な日程については言えないが、ごみの量がどれほどになったのか、曜日等も含めて周知させていただきたい
	㊳	生ごみを減らすことは賛成できるが、コンポスト助成については検討していないのか	村で過去に実施したことはあるが、上手くいかなかった。家庭用の電気式の生ごみ処理機も導入したが、使っている住民の方がほとんどいないのが現状なので、村で収集しなければならず、長続きしないことが想定され、実施は行わない予定である

日時	番号	質問事項	回答
7 / 1 7 (金) 1 3 : 3 0 }	④①	仕事前にごみを家の前に出しておく、必ずガラスにやられてしまう。それを回収されずに片付けたら、また1週間放置することになるので、運用が難しいのではないのか	可燃ごみは大きなペール等を準備していただくが、村でも今後検討してゆく。ガラスでつつかれる可能性はあるが、一方で可燃ごみとして出す量が圧倒的に減ることが実感としてある
	④②	判断に迷ったら、燃えるゴミとして出すということでのよいのか	判断に迷ったら、燃えるゴミとして出していただいて構わないが、村としても十分に周知をしていく予定である。
	④③	回収されなかった原因については、周知がされるのか	当然、最初から持っていないということは想定していない。見た目で見えるほど透明なゴミ袋でもないのに、そこで回収されないといったことは、想定していない
	④④	つつかれたビニールに関しては、回収してもらえるのか	つつかれたビニールに関しては、回収するが、つつかれないように対応していただく。落ちてるものに関しても、業者に極力回収してもらうよう指導徹底を行う
	④⑤	住民でない人はバケツがもらえないという話だが、それについてはどのように検討してるのか	あくまでも、要綱の中で、住民の方を対象としている。このバケツでなければ回収しないということではないので、各自で準備していただく分には構わない
	④⑥	住民でない人に対して、バケツを貸与するくらいはできるのではないのか	東京都の補助金の関係から、村で管理することとなっており、住民限定という紐づけがなされている
	④⑦	バケツの値段はいくらするのか	1個あたり1,600円かかる。決して回収しないということではない
	④⑧	ガラス除けにネットをかけるのか	ネットをかけていただくか、外に置いておくときは、紙おむつを除けば、バケツ一個でも構わない

日時	番号	質問事項	回答
7 / 1 7 (金) 18:00 参加者16人	①	缶はつぶしても大丈夫なのか	缶はつぶしていただいて構わない
	②	タバスコは、穴が小さくてゆすげないが、瓶で出しても構わないのか	タバスコは穴の所を外して、固まっているところを外してゆすいでいただければ、ビンで出していただきたい
	③	ピザポテトといったお菓子は、袋にカスがついてしまうが、どのように処理をすればよいのか	一回水でゆすいでいただければ構わない。蛇口をひねって水を使う必要はなく、残り水を使っていただく形で、無理のない程度で実施していただきたい
	④	ごみ回収のときには、ペールを開けてフタをして回収してくれるのか	ペールを配ることも実施したいが、予算上の都合がある。しかし、ペールを購入していただいて、飛ばないように形で、対応していただく分には構わない
	⑤	ゴミステーションを撤去することだが、一つの所にまとめておければ、ネットを購入する必要はなくなるのではないのか	出していただく方のマナーがしっかりとしていけば問題はないが、現状はそうでないこともある。今回は戸別回収をさせていただくので、その点についてご協力願いたい
	⑥	三件程度であれば、鍵をつけて、名前を付けて各自で管理すればよいのではないのか	名前を書くことも、個人情報観点から難しい面がある
	⑦	紙と鉄といったものや、紙とプラスチックといった組み合わせのものがあるが、それについてはどうに処理をすればよいのか	混載しているものについては、切り離せるのであれば、分けていただきたい。鉄であれば不燃ごみとして、出していただきたい
	⑧	組み合わせられているごみの中で、外せないものについてはどうするのか	外せないものについては、不燃ごみとして処理していただきたい
	⑨	薬品の瓶、乳白の瓶、缶は20cmまでと書いてあったが、それはどのように捨てるのか	全部不燃ごみとして出していただきたい
	⑩	ネットを張るとのことだったが、現在カラスがつついてバラバラになる可能性はある。役場として、ネットを張ってカラスがつかないといったデータをとっているのか	他の自治体のように、黄色のネットを買って行っていただく。カラスがつつきにくいネットや、網目が細かいネットが販売されているので、そのようなものも使っていただきたい
	⑪	ペール等、家の前に置けないような住民の方はどうすればよいのか	場所については、ご相談いただければ、どこに置くかは検討させていただく
	⑫	ごみの減量化が一番の目的なのか	現在使われている焼却場が老朽化しているので、早期に建て替えをしたいところだが、なかなかできないといった現状がある。その延命化をするためにも、ごみの減量化を行う。今の施設よりも、より小さい焼却炉を建設することで、ランニングコストの減少が図られる。ごみはなるべく出さないというゼロエミッションといった取り組みも、利島村第4次総合計画や一般廃棄物処理基本計画の中にとらわれているので、そのような内容も含めて今後検討してゆく予定である。島内で焼却するのか、島外搬出するのかといった内容も、今後の検討課題として含まれている。ごみの減量化をすることで、財政面においても負担が軽くなるといった面もあるので、住民の方々にはご協力いただきたい
	⑬	焼却場にお金をかける優先順位が低いのではないのか。一番真っ先にやるべきことではないのか	浄水場更新の次は、脱塩施設の井戸を掘るといった中で、ごみ処理施設といったことになってゆくので、今後何十年も稼働するといったことはありえないので、焼却場の建て替え又は島外搬出といった選択を迫られることになり、費用負担を減らすためにも、ご協力いただきたい
	⑭	焼却場の更新については、対応が遅いのではないのか	今年中にごみの量とごみ質が分かった段階で、今後の1、2年で早期に可燃ごみを処理してゆくかを検討していきたい
	⑮	持ち込みができるという表示があるが、持ち込みをするときに、袋をしばるといったような、回収をするときと同じような仕様で持ち込まなければならないのか	段ボールや新聞紙の荷姿については、ビニール袋に入れていただかなくても、段ボールを縛っていただかなくても、構わない。新たにごみを増やすようなことはしていただかなくて構わない。瓶もそのまま持ってきていただいて、天樽を置いておくので、そこにに入れていただければよい
	⑯	白色トレイについての説明をより詳細にしていただけないか	白色トレイについては、プラという表示がなされているが、白色トレイだけを集めることで、高価格で買い取っていただける現状があるため、プラスチックではあるが別に回収する
	⑰	ごみはプライベートなものであるのか、排出が守られているか、守られていないかということについては、ある程度チェックがなされるのか	回収については、透明か半透明のごみ袋で回収することになる。明らかに異物が混入されているならば、村役場で指導をさせていただきたいが、逐一分かるわけではないので、村民の皆様にはご協力いただきたい
	⑱	女性が出すごみに関してのプライバシーに関しては、どのように守られるのか。どのように	燃えるゴミについては、焼却処分をさせていただく。中身を見るということはない。資源ごみについては、資源化できないものがある可能性があるため、チェックさせていただく
	⑲	村役場の玄関前についてステーションを置くと、見た目としてどうなのか。	村役場の職員が目届く範囲で、管理していきたい。村として、環境面でこのように分別回収を進めているというPRの場として考えている
	⑳	夏場になると、PETボトルでトン袋二つくらいになる。とても多くなってしまわないのか	PETボトルについては、圧縮して島外に搬出することになる。役場に放置しておくわけではない。

日時	番号	質問事項	回答
7 / 1 7 (金) 1 8 : 0 0 5	⑲	瓶については、一升瓶もそのまま出すのか。透明の瓶についても同様なのか	そのまま出す予定。容器包装リサイクル協会のルートにのせるために、分別を行って、再利用を行ってゆく予定
	⑳	島外搬出はどのようになされるのか	紙類とアルミ缶とスチール缶については、容器包装リサイクル協会のルートとは別で搬出するが、瓶とPETボトルと紙パックと紙容器と白色トレイについては、日本容器包装リサイクル協会のルートで搬出してゆく予定。
	㉑	個別の品目については、一覧表のようなもので周知してゆくのか	今後、わかりやすくできるよう検討する
	㉒	生ごみの回収が週二回だと、衛生的にどうかと思うが、それについてはどう思うか	民宿等ごみが多い箇所に関しては、役場の所で開けておき、拠点回収の形をとる。発酵促進剤等、管理をしていかなければならない現状がある
	㉓	最終的には生ごみ処理槽はどうなるのか	下に2m×2m×2mの生ごみが入る容量があり、そこに貯めていき、分解すると2%から3%の容量になる。3機設置しており、1日30kgから50kgの生ごみを投入すると3年程度で一杯になる。1日家庭から出る生ごみは1kg未満であるため、4基設置すると十分足りる。母島では10基設置している。1基目が一杯になったら、2基目に投入し、その間1基目が分解していく。3基目についても同様で、それを繰り返してゆく
	㉔	生ごみ処理槽の中の物は、堆肥ということにはならないのか	堆肥化という名目にはなっているが、基本的には分解されることになる
	㉕	ゴミを出す時間について	8時30分までに出していただくが、戸別回収を行う時間帯によっては、8時30分には一斉に回収できないこともあるので、今後、事業者とも話を進めていく
	㉖	生ごみ処理容器の耐用年数について	2年間使用していただいて、その後は無償貸与という形になる
	㉗	バケツが劣化して割れてしまい、変えることになった場合は実費になるのか	2個までは無償で貸与させていただくので、壊れてしまった場合は、役場で再度申請いただく